

Nisri

(公財) 名古屋産業科学研究所
Nagoya Industrial Science Research Institute

産業科学フォーラム

日時：平成26年1月17日(金) 14時から

場所：名大 VBL棟(4階) セミナー室

テーマ：材料設計の現状

講演プログラム

挨拶 (14:00~14:05) 主催者

講演(1) (14:05~15:05) **カーボンナノチューブエレクトロニクスの可能性**

(水谷 孝 上席研究員・名大名誉教授)「カーボンナノチューブは飯島博士により発見された、直径約1nm、長さ数 μm ~1mmの炭素からなる円筒状ナノ物質である。チューブの螺旋度により金属にも半導体にもなり、電子/正孔の速度はSi中の速度に比べて約10倍の値が予測されている。この特徴に加えてフレキシブルであること、透明であること、表面の占める比率が高いことなどから、**新機能超高速エレクトロニクスの可能性**を有し高い期待が寄せられている。本講演では、この高い期待を有するカーボンナノチューブについて、エレクトロニクスへの展開の可能性を議論する」

講演(2) (15:15~16:15) **エネルギー自産・自消システムの実現に向けたセラミックス研究**

(野上正行 上席研究員・名工大名誉教授)「資源・エネルギー・環境問題の束縛を解き自然との共生社会を構築する姿の一つは、個別単位で使用する全エネルギーを自産し自消できるシステムを完成させることである。そのための切り札は、クリーンな太陽光エネルギーで必要なエネルギーを全て賄うことのできる技術であり、太陽光エネルギーの高効率変換技術、燃料電池や二次電池などのエネルギー貯蔵技術および電化製品の少エネルギー動作技術を開発することである。セラミックス・ガラスの研究を行ってきた者として、**セラミックス材料設計**についての考え方と研究内容を紹介する。」

*参加いただける方は、事前に下記まで
連絡願います。

公益財団法人 名古屋産業科学研究所

研究部 E-mail: dor@nisri.jp

*会場へのアクセス

地下鉄名城線 名古屋大学

3番出口 徒歩3分

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>

